

令和6年度第1回八千代市学校給食センター運営委員会の議題に関する
質問・提案・要望への回答書

1 秦光恵委員（八千代市薬剤師会会員）

質問1 物価高騰が続いていること、米不足など、問題が多々ありますが、今後どのように対応していかれますか。連続の給食費改定になってしまうのでしょうか。

回答： 精米につきましては、供給元から、令和7年度分の学校給食の提供に必要となる量の確保に見通しが立っている旨の説明を受けています。

また、給食費の改定につきましては、栄養バランスの整った安全・安心な給食の提供を続けていくために、今後も物価の動向を注視していく中で、必要に応じて適切な対応を図ってまいりたいと考えております。

要望1 残菜率を減らすための取り組みを引き続きよろしくお願いいたします。

回答： 給食の残菜は野菜類のメニューで多くなる傾向があるため、子どもが好きな肉を野菜と組み合わせる等（例 スタミナサラダ等）、献立における工夫に努めるとともに、栄養教諭等による食育の授業や喫食参観の実施、給食センターの施設見学をはじめとする校外学習の受入れ等を通して、「食べることの大切さ」を伝える等、残渣の低減に向けた取り組みを進めてまいります。